



国空機第150号
平成27年5月1日

公益社団法人 日本航空機操縦士協会会長

下枝 堯 殿

国土交通省航空局安全部

航空機安全課長 川勝 弘彦



運輸安全委員会より提供された航空安全情報の周知徹底について

平成27年4月26日にJA3857（セスナ式172RG型）が鹿児島空港に着陸した際、脚が格納されたままであったため胴体着陸となり、機体が損傷する航空事故が発生した。

本件については、現在運輸安全委員会において調査中であるが、今般同委員会より別添のとおり航空安全情報の提供があったところである。

本情報によれば、当該事項が航空事故にどのように関与したかについては調査中であるものの、同機のギアワーニングに関し、スロットル・コントロール・リンケージ部に取り付けられていたマイクロスイッチを取り付ける2つのスクリーボルトのうち片方が欠落しており、マイクロスイッチのグラウンド線が外れていたとのことである。また、ギアを上げた状態で、スロットル（エンジン出力）を着陸時の状態にしても、ギアワーニングは作動しなかったとのことである。

については、貴会傘下会員に対し、航空事故防止の観点から本情報の周知徹底を図りたい。

(別添) 「航空安全情報の提供について」平成27年5月1日付

(別 添)

航空安全情報の提供について

平成27年4月26日に発生したJA3857（セスナ式172RG型）の航空事故については、現在調査中ですが、ギアワーニングに関する調査の過程で一部判明した事項を次のとおり通報します。

なお、当該事項が本事故にどのように関与したかについては、引き続き調査中です。

記

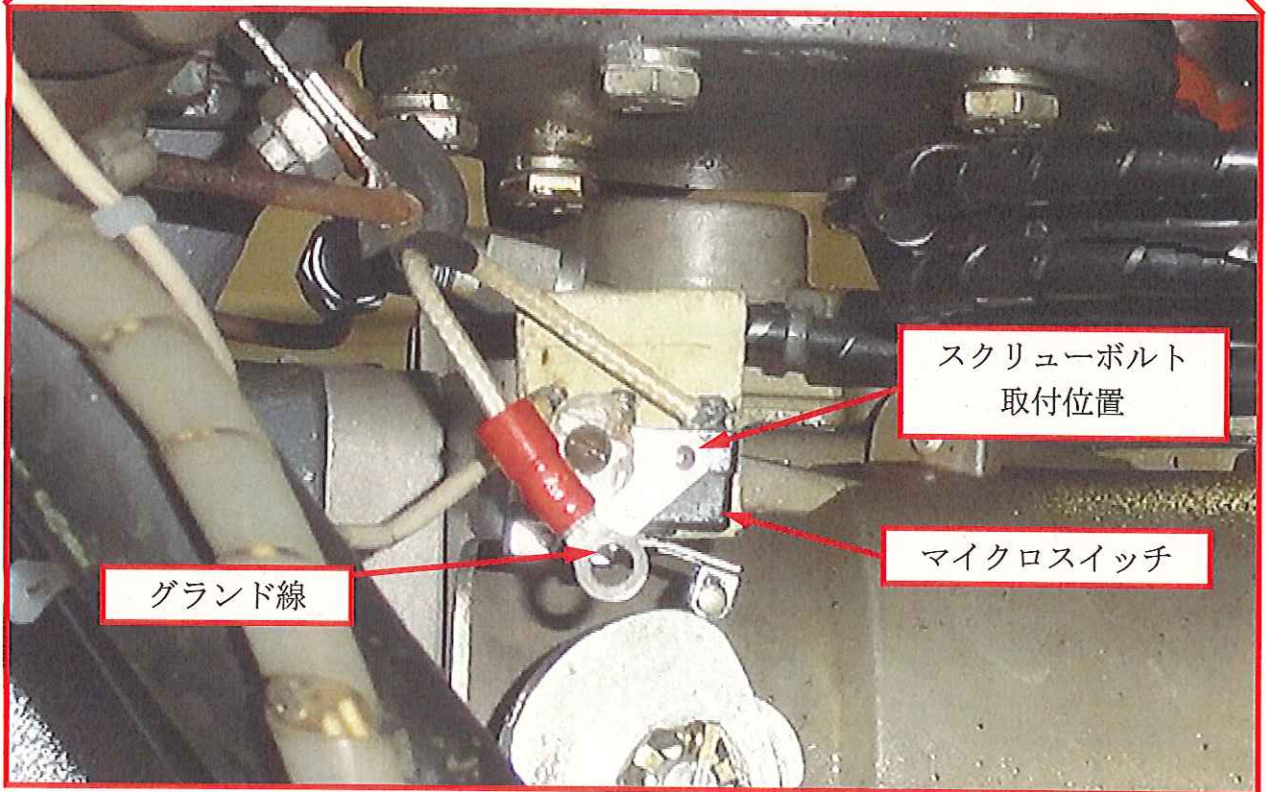
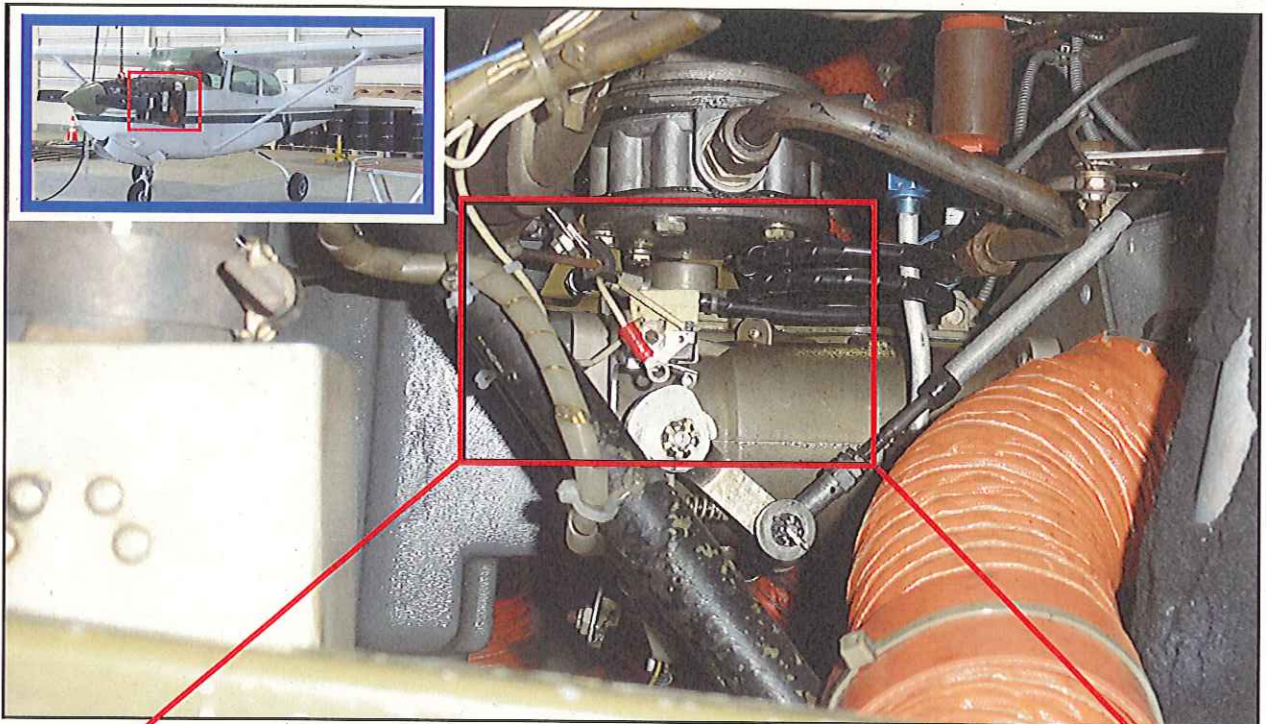
1. 事故の概要

同機は、慣熟飛行のため、石見空港を出発し、鹿児島空港に着陸した際、胴体着陸となり、機体が損傷した。

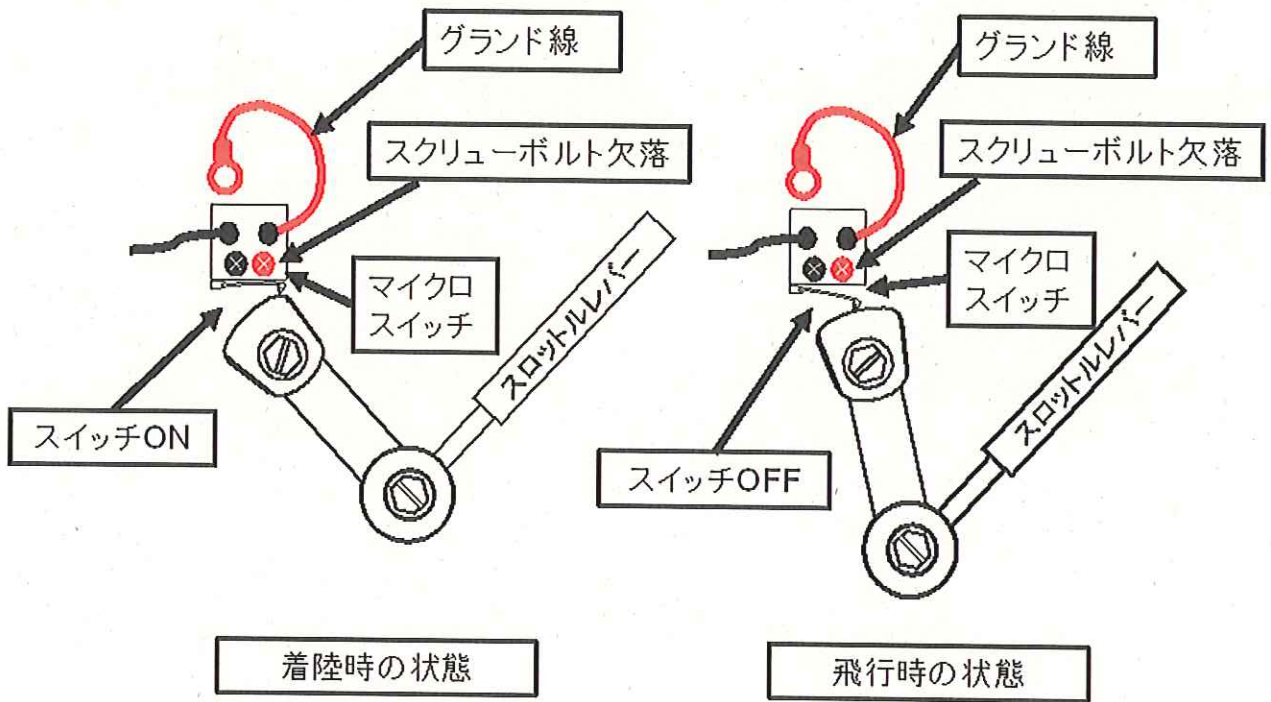
2. 情報提供

現在までの調査の結果、ギアワーニングに関し、次の事項が判明した。

- (1) スロットル・コントロール・リンケージ部に取り付けられていたマイクロスイッチを取り付ける2つのスクリーボルトのうち片方が欠落しており、マイクロスイッチのグラウンド線が外れていた。
- (2) ギアを上げた状態で、スロットル（エンジン出力）を着陸時の状態にしても、ギアワーニングは作動しなかった。



スロットル・コントロール・リンケージ部のマイクロスイッチ



マイクロスイッチの動作状況 簡易図

ギアの状態	スロットルの状態	ギアワーニング
DOWN	着陸状態	作動しない
DOWN	飛行状態	作動しない
UP	着陸状態	作動
UP	飛行状態	作動しない

ギアワーニングの機能 (正常時)